



中小企業診断士2次試験対策コース ～資格概要から講座の特長～

中小企業診断士とは

中小企業の経営課題に対応するための診断・助言を行う専門家の国家資格です。中小企業に限らず企業経営の知識を広く学ぶ特徴から「日本版MBA」とも呼ばれます。1次試験で知識や理論を体系的に習得し、2次試験で事例を通じて応用力を磨くことで、定型業務に縛られずAIにも代替されにくい独自の価値を発揮できる資格です。

中小企業診断士2次試験とは

2次試験は1次試験合格者が受験できる論述筆記・口述試験です。中小企業診断士となるのに必要な能力を有するかどうかを判定するため、実際の事例に沿った応用力が問われます。筆記試験は、「経営革新・改善」「新規事業開発」などに関して、「組織（人事）」「マーケティング・流通」「生産・技術」「財務・会計」の4つの事例から出題されます。口述試験は、個人ごとに面接で行われ、試験時間は約10分間です。

講師／監修者紹介



山口正浩 先生

中小企業診断士。TBC受験研究会統括講師。

中小企業診断士として長年、2次試験対策を専門に指導。毎年多くの合格者を輩出し、企業研修や大学講義でも登壇。出題企業への取材や分析を通じ、実務的かつ試験合格に直結する知見を提供している。受験界でも屈指のブランド力を持つ指導者。

受講対象者の方

中小企業診断士試験の勉強法に悩んでいる人

出題傾向がわからず勉強しにくい

前回の2次試験で不合格だった

転職・独立を目標にして仕事や家事と受験勉強を両立させながら確実に合格を目指したい人



講座の特長

TBC独自メソッドで2次試験を効率よく攻略

多数の合格者を輩出する「**具体→抽象→具体**」「**抽象化ブロックシート**」というTBC独自メソッドで、合格ラインを突破する**解答テクニック**を効率よく学べます。

要点を押さえた解説動画で解法を確実に習得

2次試験で出題される**事例Ⅰ～事例Ⅳの具体的な解法**を、**各30～40分**のレクチャー動画で解説（計30本）。**失点を防ぎ、加点を狙うポイント**を紹介します。

2次試験合格の「思考力」「記述力」が圧倒的に身につく

2次試験では「**正確な解答を書けるかどうか**」が合否を左右します。そのために必要となる「**思考力**」「**記述力**」を、**過去問解説**などを通して身につけられます。

チェックテストも参考書もスマホで完結

レクチャー動画によるインプットはもちろん、**理解度・知識定着度をはかる演習問題もスマホで完結**。さらに、早稲田出版のベストセラー『**速修2次テキスト**』、『**速修2次過去問題集**』が付属します。

主な教材の種類と特長



教材	個数
レクチャー動画	事例Ⅰ～Ⅳ 30本（約15時間）
チェックテスト	170問 （抽象化ブロックシート穴埋め演習）
過去問演習	『速修2次過去問題集』（VII・VIII） 全ページ相当（令和3～6年分/PDF）
デジタル参考書	動画対象171 ページ相当 早稲田出版『速修2次テキスト 2025年版』 該当箇所

教材を使った学習の流れ

Shikaku Pass中小企業診断士2次試験対策コースでは、**レクチャー動画で論点・正答ポイント**を取得し、**チェックテストで知識の定着を確認**するのが基本的な学習の流れとなります。まず、**事例Ⅰ～Ⅲ共通のテーマについて学習**してから、事例Ⅰ～Ⅳ各テーマごとの学習に進みましょう。各テーマごとの学習では、チェックテストのあとに自身で過去問を実際に解き、より実践的な解答テクニックを身につけます。チェックテストと過去問演習は反復して行い、**解答の精度や解答スピードの向上**を目指しましょう。

30～40分の「論点・正答ポイントの習得」と、チェックテスト+過去問演習のサイクル

